

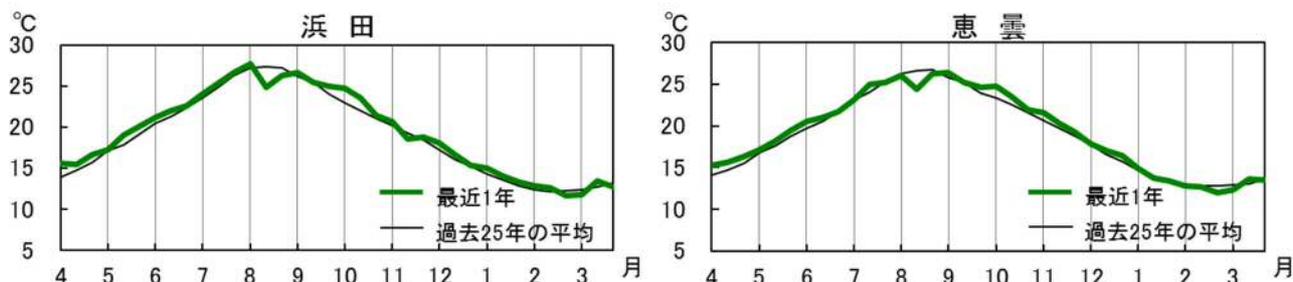


(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

## 《3月の海況》



3月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	やや低め	13.0°C	+0.2°C	やや低め	13.2°C	-0.1°C
中旬	やや高め			平年並み		
下旬	やや高め			平年並み		



## 《3月の漁況》

## 【中型まき網漁業】

浜田地区ではマイワシ主体の漁況でした。魚種別の漁獲量の動向は、マイワシは平年の4割だった他、例年漁獲量の多いサバ類はほとんど水揚げがありませんでした。隠岐地区ではマイワシ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は170トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マイワシは16,338トンで平年の3.4倍と漁獲の大半を占めた他、例年水揚げの少ないブリ類は181トンで平年の40倍以上の水揚げとなりました。

## 【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）ではスルメイカ（全体の100%）が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は985kgで平年を上回りました。西郷地区（属人5トン以上）では水揚げがありませんでした。

## 【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではキダイ、ケンサキイカ、スルメイカが主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は11.8トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、キダイは平年の1.6倍、ケンサキイカは平年の1.6倍、スルメイカは平年の9割でした。その他、マダイは平年の1.9倍、マアジは平年の1.4倍と好調でしたが、アナゴ・ハモ類は平年の8割、アンコウ類は平年の7割、アカムツは平年の6割、カワハギ類は平年の2割の水揚げでした。

## 【小型底びき網漁業】

大田地区（和江・久手）ではアカガレイ、ソウハチ、ヒレグロが主体の漁況で、総漁獲量は369トンでした。1統1航海当りの漁獲量は930kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、アカガレイは平年の1.5倍、ソウハチは平年の9割、ヒレグロは平年の7割でした。その他、アナゴ・ハモ類は平年の2.2倍、ニギスおよびヤナギムシガレイは平年の1.8倍、キダイは平年の1.6倍、アンコウ類は平年の1.2倍と好調でしたが、アカムツは平年の8割の水揚げでした。

## 【定置網漁業】

出雲地区ではマイワシ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は21.5トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マイワシは平年の6.1倍でした。石見地区ではマイワシ、マアジ、クロマグロ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は4.6トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マイワシは平年の4割、マアジは平年の7割、クロマグロは平年の1.1倍でした。隠岐地区ではブリ、マイワシ、スルメイカ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は15.6トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の1.6倍、マイワシは3月では6年ぶりの豊漁、スルメイカは平年の7割でした。

## 【釣・縄】

出雲地区ではブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は41.2kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の6割でした。石見地区ではサワラ類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は32.1kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サワラ類は平年の1.5倍でした。隠岐地区では、ブリ、カサゴ・メバル類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は26.6kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の1.9倍、カサゴ・メバル類は平年の9割でした。

【令和4年3月の漁獲統計】

※本号から漁模様（◎、○、▲）の記載はありません。

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)		
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %
中型まき網	浜田	マイワシ	—	—	—	—	—	—
	隠岐	マイワシ	16,628トン	252%	182%	170トン	211%	159%
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ	23.6トン	57%	128%	985.0kg	150%	253%
	西郷	—	—	—	—	—	—	—
沖合 底びき網	浜田	キダイ、ケンサキイカ、スルメイカ	224トン	77%	76%	11.8トン	89%	81%
小型 底びき網	大田	アカガレイ、ソウハチ、ヒレグロ	369トン	115%	113%	930kg	107%	110%
定置網 (大型)	出雲	マイワシ	258トン	262%	256%	21.5トン	240%	189%
	石見	マイワシ、マアジ、クロマグロ	13.9トン	134%	49%	4.6トン	134%	49%
	隠岐	ブリ、マイワシ、スルメイカ	31.2トン	103%	122%	15.6トン	154%	142%
釣り・縄	出雲	ブリ	35.3トン	81%	66%	41.2kg	95%	98%
	石見	サワラ類	30.5トン	163%	99%	32.1kg	153%	127%
	隠岐	ブリ、カサゴ・メバル類	17.5トン	123%	106%	26.6kg	122%	110%

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

※ 水温の評価「はなはだ○○」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ

「かなり○○」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ

「やや○○」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ

「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ